

学校だより

明るく 元気に たくましく

平成22年12月22日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-245-0304

FAX 082-245-0349

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



作業学習で取り組んだ製品（マドレーヌ）

□ はじめに

師走と言われる12月は、街の人の往来も忙しなさが漂っているように感じます。今年も後わずかとなりました。これまで、私たち教職員一同は、学校協力者会議において御意見としていただきましたが、「子どもの力は伸びているか」「保護者が教育に満足しているか」「教育の妥当性はあるか」ということを念頭において、児童生徒の指導を行ってまいりました。まだまだ十分ではありません。今後も努力していきたいと考えています。

ところで、師走は、字義から、先生が走るくらい忙しい月と思われがちですが、どうもそうではないようです。一説には、師匠の僧が、お経をあげるため、東西を馳せる月と言われていています。昔は、お盆と同様、お経をあげ祖先を弔う月であったようです。また、仕事が終わるという意味の「仕極つ」が語源とする説もあります。四季の果てる月を意味する「四極」がなまったものという説もあります。これは、冬の終わりを言っているものと思われれます。

私は、教職員が「夢と希望とロマン」をもって教育に取り組んで欲しいと願っています。やりがいをもって仕事に取り組んで欲しいと願っています。1年という期間は終わっても、教育に関しては、これで仕事が終わりとということはありません。全ての教職員が、より一層の高い目標を持って取り組んでいかなければならないと考えています。また、四季の冬が終わっても、また春が来ます。そして、新入生が入学してきます。児童生徒はもちろん、保護者も、本校に入学して良かったと思っただけのよう、これからも弛まぬ努力を続けていきます。

□ 学校協力者会議

12月3日（金）第2回学校協力者会議を行いました。元校長 江上正明様、広島大学大学院教授 林 武広様、同准教授 若松昭彦様、育成園園長 向井正篤様、もみじ福祉会理事長 浜崎 勝様、元PTA会長 善川夏美様、PTA会長 中島 恵様（委員3名は御欠席でした。）の御出席のもと、学校経営計画中間報告、各学部の取組、夏期研修会、建替の進捗状況について、貴重な御意見をいただきました。校内の整理整頓や構造化等教育環境づくりにおいて努力しているものの、保護者にアセスメントや指導についての説明を徹底していくこと、個別の教育支援計画やサポートファイルの更なる活用等の課題もたくさんいただきました。今後、教育の専門性をより一層向上させ、保護者の皆様に、本校の教育に満足していただけるように努めていきたいと考えています。

□ 広島市商ピースデパート

12月4日（土）、5日（日）に開催された広島市商ピースデパートに、本校高等部の生徒が参加しました。この広島市商ピースデパートは、ビジネスの体験活動を通して、企業経営のセンスと専門能力を育成することを主な目的とするものですが、本校生徒は、作業学習で制作した製品の販売を通して、接客サービスを行いました。他校の生徒の行動はとてよい刺激になり、本校の生徒も上手に挨拶ができるようになりました。製品は、実用的な物で丁寧に作られた良い物がよく売れることも学びました。このことは、今後の作業学習の内容にも関わることでありますが、製品の見直しや質の見直しが必要であることを気付かせていただきました。来年度に向けて、この経験を生かして行きたいと思います。



□ 広島市副市長視察

12月8日（水）、広島市副市長 豊田麻子様をはじめ、企画総務局ICTクロスセッション調整担当局長 山本正己様、企画総務局ICT連携推進担当課長 天野博司様、教育委員会総務課ICT化推進担当課長 未定勝実様、教育委員会特別支援教育課長 三村千秋様、同指導主事 福庭由也様がICTの活用及び推進状況について、本校を視察されました。現在、本市は、情報化基本計画に基づき、教育用情報通信ネットワークの整備等、様々な施策に取り組んでいるところです。このたびは、ICTの活用をしている授業の参観や、教材教具の見学等をされました。な



かでも、本校情報教育部の発行している「情報教育部だより」（教職員向け）を高く評価していただきました。PCや視聴覚機器の活用により、多様な障害実態の児童生徒にわかりやすく、且つ、楽しい授業を行うことができるよう、日々、私たち教職員は、情報機器の扱いにも精通しておかなければなりません。



ICTを活用した高等部の授業

□ 感動体験推進事業を活用した取組

12月6日（月）に、ヴィオラ奏者 沖田孝司様、ピアノ伴奏者 沖田千春様をお招きし、小学部高学年を対象としたコンサートを開催しました。児童は、日頃からよく親しんでいる「さんぽ」や「赤鼻のトナカイ」等を鑑賞したり合奏したりするなどの学習をしました。

12月15日（水）には、フラダンス教室代表 占部浩子様をお招きし、小学部低学年の児童が、フラダンスを学びました。レイを首に掛けてもらったりムーを着たりして、プレイルームの中は、まるで常夏のハワイにいました。

これらの行事は、いずれも広島市教育委員会の事業を活用した取組です。このような事業を有効に活用して児童生徒に感動を与えることは、関心・意欲・態度に良い影響をもたらすことになると思います。平成23年度の年間計画や単元計画にも是非活用して、よりよい授業の創造をして行きたいと考えています。



□ 同窓会親睦会

12月12日（日）に、同窓会親睦会を本校体育館で行いました。このたびは、160名を超える会員に集まっていただき、誠にうれしい限りです。本校が卒業生の心の拠り所となってほしいと願っています。友と希望や悩みを語り合える場であって欲しいと願っています。20歳になった卒業生には、1月10日に実施される広島市成人祭にも是非参加して欲しいと思います。同窓会コーナーがあり、市内全中学校と同様、本校のプラカードも用意されています。



□ おわりに

右の写真は、授業の一場面を撮っています。一生懸命に取り組んでいます。そうした児童生徒の頑張りに応じていきたいと思えます。今行っている課題はこの児童生徒に本当に適切な課題なのかどうか、この児童生徒に、なぜこうした方針で対応しようとしているのか等について説明できなくてはなりません。学校協力者会議では、「保護者にアセスメントや指導について説明できているのか。」「子どもへの愛だけでは教育は成り立たない。専門性を常に向上させていく努力をお願いしたい。」

「個別の指導計画や個別の教育支援計画、サポートファイル等を活用し、園、小学校、中学校との連携を確実にしていただきたい。」等の意見が出されました。今後とも、研鑽を積んでまいります。そして、保護者の皆様の期待に応えていきたいと考えています。

冬休みに入りますが、児童生徒が元気で家庭での生活をおくってくれることを願っています。保護者の皆様、よい年をお迎えください。

